



先輩のワザ連続講座
のんちゃん先生の
学級びらき 野口美代子さん
4月2日(土) アネックスパル
14:00~ 法円坂

発行 大阪市学校園教職員組合

大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)
編集・発行人 中路 龍太郎

TEL 6910-8700 http://osaka-shikyo.sub.jp/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyoi@sea.plala.or.jp

就学援助2億円減額 大阪市 予算案 市民要求掲げ市役所包囲



来年度予算を審議する大阪府議会開会日の2月17日、国民健康保険料引き下げ、市民要求の実現を求め市役所包囲行動が行われ、3000人が「高すぎて払えない国保料を下げて」「暮らしと福祉を守る大阪市政に」などと訴えデモ行進しました。大阪府対策連絡会議(市対連)と大阪市の国保をよくする実行委員会の主催。

2011年度予算は市長選挙を秋にひかえているため、11年度は市民サービスに直接つながらず、事業には手をつけていない」と市の担当者が説明しています。市民の運動を反映し、敬老バスや水道料金の高齢者に対する福祉措置の維持、医療費の公費負担拡充(0~2歳入通院など所得制限撤廃、入院小学校修了から中学校修了、ワクチン無料接種(11年2月)、地下鉄可動式ホーム柵の設置(長堀鶴見緑地線11年度、千日前線14年度、御堂筋線19

市民の運動で実現

- ◇敬老バス、水道料金福祉措置維持
- ◇中学生の入院費助成の実現
- ◇子宮頸がんワクチン等無料接種
- ◇可動式ホーム柵(御堂筋線19年度)

教育・福祉切り捨て

- ◆児童生徒就学援助2億円減額
- ◆給食調理民間委託27→37カ所
- ◆保育所民間委託 27→35カ所
- ◆職員4000人削減(5年間)

維新の会 地方自治破壊 市民の財産を大型開発へ

「大阪府財政構造プラン」で住民の福祉と暮らしを守る地方自治体の原点を投げ捨て、大企業呼び込みの誘致補助金やインフラ(基盤整備)に巨額の税金を投入し、財界のもうけに都合のよいように自治体を大規模化していく「大阪都構想」。「広域行政の本体化は、究極の成長戦略」大阪府をなくして「大阪都」に一本化し、財源を集中投資する。「企業活動を活性化させる空港、港湾、高速道路、

鉄道のインフラを整備」に税金を集中投資するとしています(維新の会HP)。なにわ筋線事業費4000億円、淀川左岸線延伸3500億円。破綻が明らかになりません。

咲洲地区50億円

「大阪経済の活性化」として、関西財界の意に沿った成長戦略に基づいて大阪駅北ヤード地区と夢洲・舞洲地区には公金をつぎ込み(咲洲地区の活性化50億

年度)、児童虐待に対応する児童福祉士増員(139人)、赤バスの廃止も1年先送りとしています。

しかし、保育所や学校給食調理業務の民間委託を進め、子どもの貧困が問題となっている大阪府で児童生徒就学援助を2億円減額、職員の4000人削減(5年間)など、「新しい大阪府をつくる市政改革基本方針(案)」に基づき公共福祉の責任を放棄するものとなっています。

円、国際コンテナ戦略港湾21億円)、淀川左岸線2期の建設を推進して「企業呼び込み」に重点を置く一方、中小企業支援は全く乏しいものとなっています。

橋下知事が「関西電力株を使えば、北ヤードの土地くらい買える」と発言し、大阪市の保有株は時価換算で約1700億円と新聞報道されました。市民の財産で大型開発をすすめるようにする知事の発言は許せませんが、

年度末人事内示 苦情相談
3月17日(木) 18:00~
アネックスパル法円坂
(JR森ノ宮・地下鉄谷四)

フロアー形式守った 押しつけ許さぬ闘い続く

日の丸・君が代

大阪府連・大阪市地区協議会の対市交渉が2月9日にあり、大阪市教も参加しました。

大阪府連は、卒業式入学式の「日の丸・君が代」の押しつけに対して、憲法で保障された内心の自由を守るよう厳しく追及しました。

交渉の中で、市教委は、「①卒業・入学式は、②卒業・入学式は、③職務命令はなじまない」と見解を示しました。

また、「式の起立、国歌斉唱の流れは内心の自由を侵している」と、保護者からの指摘には、「流れについては指導していない。流れは学校で決めること」と述べました。

仲間が増えた! 組合歓迎会で青年が加入

連綿して仲間が増えていきます。

西大阪支部の中学校の青年。職場で受け持った、慣れない担当の仕事に悩み続けていました。大阪市教の先輩が、声かけを続けていました。管理職は誠実に対応してくれず、心身ともに疲れ果て、市教の先輩に相談。組合に入る決意をしました。北大阪支部のA分会。先輩のKさんが、ずっと二人の青年NさんとHさんに、声をかけてきました。Nさんが1月に加入。分会が主催する、Nさんの歓迎会にHさんも参加しました。先輩のKさんから、「もうそろそろいいんじゃないの?」と、加入をうながされると、「はい、入ります!」と加入! その時は、二人の青年の歓迎会になりました。

たんぽぽ

だより

3月

2月3日のたんぽぽ会議は、節分行事で恒例となった恵方巻をみんなでお食べしました。

今年もよいことありませうに」と。無言で食べている時はおかしうて噴き出しそうでした。無事に、声

青年フェスタの声かけの状況を聞くこと、支部と協力して進めていること。みんな一人ひとりの頑張りとこれまでの繋がりが今回の多数の参加に繋がったんだと、改めて感動しました。さて、青年フェスタの幕がおりたら、次は大阪市教のしんかんフェスタの取り組みにむけて頑張ります! 実行委員会を作って、みんなで作って、みんなで企画から運営をします。是非、青年の方は実行委員をしてください。



市地区協議会
2月9日

職員との合意によって行われてきたフロア形式を壇上形式に変えようとする動きについては、「フロア形式が厳密さに欠けるので壇上形式で」といった指導はしていない」と述べ、学習指導要領に則った儀式的行事のねらいを達成する中で創意工夫があってもよい」との見解を示しました。

大阪市教の分会では、「日の丸・君が代」の押しつけを許さないたたかいが、攻撃が強まる中でも、粘り強く続いています。職場の教職員の協力共同で、フロア形式を守った経験も生まれています。大阪市の要請により、各区労連や市民団体が各学校園長に対して要請行動も行っています。

